

平成 20 年度前期・岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

|        |       |
|--------|-------|
| 講 座    | 言語情報論 |
| 専門科目 2 | 日本語試験 |

問題 1 次の文章を読み、設問 1～5 に答えなさい。

設問 1 下線部 (ア) (イ) (ウ) のカタカナを漢字に直しなさい。

設問 2 かっこ [ ] に入る言葉を文章中から探して答えなさい。

設問 3 下線部 (1) と (2) の二つの「筆舌に尽くしがたい」はどのように意味が異なるか。詳しく説明しなさい。

設問 4 筆者の言う「バウリンガル化」とはどのような現象か。文章全体の趣旨を踏まえて説明しなさい。

設問 5 筆者は、人間の言語をどのようなものと考えているか。文章全体の趣旨を踏まえて説明しなさい。

注 1 : 次の文章とは、秋葉龍一「バウリンガル」『月刊言語』2003 年 3 月号 (大修館書店) 2～3 頁である。※出題の都合上、文章の一部を省略している。

問題 2 次の文章を読み、設問 1、2 に答えなさい。

設問 1 筆者は、「聞き手領域指示」にソが現れることを、どのように説明しているか。まとめて説明しなさい。

設問 2 筆者は、「中距離のソ」についてどのように説明しているか。まとめて説明しなさい。

注2：次の文章とは、金水敏・田窪行則「日本語研究史から／へ」『指示詞』（ひつじ書房、1992年）11.2.（186～188頁）である。

以上